



園だより

毎月1日発行



<1月の聖句>

受けるよりは 与える方が 幸いである

使徒言行録 20章 35節

あけましておめでとうございます。2024年は能登半島の大きな地震で始まりました。また世界では紛争が絶えません。2025年が全ての人にとって、より良い1年になりますよう心からお祈り申し上げます。

さて「受けるよりは与える方が幸い」という今月のみ言葉。与えるからにはそれなりに、自分自身の蓄えが必要です。例えば、子どもの口に食べ物を運ぶ時、あーんと大きな口を開けてみせるのは、自分もそのように食べさせてもらっていた証拠です。また、自分より小さな子どもが泣くを見て、思わず頭をなでる子どもは、自分がそうされて育ったからこそ習得し得たことなのでしょう。与えることができる人は、それだけ多くの経験(恵み)を蓄えていることとなります。いただくものを与えあってこそ、人は豊かにされるのかもしれませんが。それぞれの蓄えた恵みを与え分け合いつつ、日々の営み、平和という喜びが1年間守られますように。そして何よりナオミ愛児園に集う子どもをまんなかにして、出会う方々と共に豊かにされ、感謝して平安のうちに一年を過ごすことができますようにと祈ります。

平田 敬子

<月主題>



- 0歳児<いっしょにね> 神さまに守られている安心感の中で過ごす。/友だちや保育者と一緒にいることを喜び、関わり合う。/自分でやってみようとするが増える。
- 1・2歳児<いっしょにね> 自分が大切にされていると感じ、神様に愛されえ守られていることに気付く。/友だちと真似をし合いながら遊ぶことを楽しむ。/冬の自然の中で体を動かす楽しさやおもしろさを味わう。
- 3歳児<じっくりと> クリスマスを通してイエスさまを身近に感じ、お話を聞く。/正月遊び、昔遊びなどに親しみ、友だちと一緒に遊ぶ楽しさを知る。/寒い季節の自然、氷、霜柱などに触れる中、体を動かすと暖くなることを知る。
- 4・5歳児<かさねる> クリスマスに与えられた喜びを引き続き感じながら聖書の物語に親しむ。/今まで楽しんできたことに新たな経験を重ね遊びを広げる。/冬の不思議やおもしろさに気付き、友だちと調べたり試したりする。

<さんびか>

『 ちいさいのちが 』(こどもさんびか2) 『 わたしたちのともだちに 』(こどもさんびか)

<おやつ音楽>

ひらけ！ポンキッキ ベスト50

<行事予定>



日	月	火	水	木	金	土
			1 年始休み	2 年始休み	3 年始休み	4
5	6 新年(始園)礼拝	7 避難訓練	8	9	10	11
12	13 月曜礼拝	14	15	16 体操教室①	17 誕生会	18
19	20 月曜礼拝	21	22	23	24	25
26	27 月曜礼拝	28 サッカー教室(つき・ほし)	29	30 体操教室② おたより配布	31 ご予約ください	2/1 保護者会



～インフルエンザに注意～



寒くなるこの時期は、インフルエンザに留意が必要です。

症状は、発熱、悪寒、関節痛、頭痛、咳やのどの強い痛みなど。



例	発症日	発症後5日間（出席停止期間）					発症後5日を経過		
	0日目	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目	8日目
発症後1日目に解熱した場合		解熱	1日目	2日目	3日目		当園OK		
発症後2日目に解熱した場合			解熱	1日目	2日目	3日目	当園OK		
発症後3日目に解熱した場合				解熱	1日目	2日目	3日目	当園OK	
発症後4日目に解熱した場合					解熱	1日目	2日目	3日目	当園OK

保育園の出席停止については左記の表（早見表）のとおりです。発熱日を0日として最低5日間は登園できません。

かつ解熱して3日間経過していれば、登園が可能です。早見表をご参照ください。

以下症状別の対応を、ご参考までに。

<熱が高い時>

手先足先を触り、冷たいなら、まだ熱が上がる場合があります。できるだけ体を温めながら、おでこを冷やす程度がよいでしょう。手先足先が熱くなっていましたら、温めるよりも気持ちの良い程度で体を冷やすようにします。

インフルエンザやコロナウイルスの検査は、発熱直後では判明しないので、発熱の翌日に受診して検査していただくといいますが、高熱ならば熱性けいれんが出ることもありますので、受診のタイミングはかかりつけ医にご相談すると安心です。水分はこまめに摂りましょう。

また、熱があっても意外と元気なのが子どもです。それでも子どもの病気は急変するもの。活気がなくてぐったりしている、いつもと様子が違うなどがありましたら、早めにかかりつけ医に相談しましょう。

<咳が続く時>

背中にクッションなど当てて、少し体を起こしてあげましょう。冷たい空気や部屋の乾燥は咳を誘発しますので、室温湿度に留意します。一度にたくさん水分を摂りますと、もどしてしまうこともありますから、こまめな水分補給がよいようです。

<おなかの調子がすぐれない>

子どもが体調不良でも、食べてくれさえすればひと安心。ですが、食べたものを吐いたり下したりすれば、子どもがまたきつい思いをします。油菓子や牛乳など刺激するものを避け、おかゆなど消化の良い温かいものを少しずつ食べさせましょう。

下痢や嘔吐はないけれど、食欲がない時には、高カロリープリンやゼリー、アイスクリームなど、子どもが食べたいものを少しずつ食べさせるのが有効です。

お休みの日は、八幡市立病院内に小児救急があります。093-662-6565です。北九州市HPをご確認ください。

感謝します クリスマス献金のご協力をいただきありがとうございました。献金総額は46,579円でした。「キリスト教保育連盟（災害支援を含む）」「重症児（者）施設久山療育園」「大牟田恵愛園」「北九州キリスト教会」の4つの施設、団体に分けてお捧げさせていただきます。たくさんのお祈りとご厚意に心から感謝申し上げます。

*年末年始について 12月29日から1月3日まで ナオミ愛児園は休園です。

年末年始、災害も含め十分に気を付けてお過ごしください。

休暇中、緊急のご用がありましたら、ナオミ愛児園（093-871-3245）までご連絡ください。

*年始明け最初の登園は、休み期間気になったこと（特に体調面）などを、受け入れる保育士にお伝えください。

